

No. 32 一般社団法人岩手県畜産協会

I 法人の概要

1 基本情報

令和6年7月1日現在

法人の名称	一般社団法人岩手県畜産協会		所管部局 室・課等	農林水産部 畜産課		
設立の根拠法令	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律		代表者 職・氏名	会長理事 伊藤 清孝		
設立年月日 (公益法人への移行年月日、統合等があった場合、その年月日、相手団体の名称等)	平成25年4月1日	事務所の所在地	〒020-0605 岩手県滝沢市砂込389番7			
	(平成15年7月1日(社)岩手県家畜畜産物衛生指導協会と統合)(平成25年4月1日一般社団法人へ移行)	電話番号	019-694-1300			
		HPアドレス	iwate.lin.gr.jp			
資(基)本金等	73,000,000円	うち県の出資等 割合	41,000,000円	56.2%		
設立目的	畜産経営改善の指導、飼養管理技術の向上、家畜改良の促進及び自衛防疫の推進を図るとともに、安全かつ良質な畜産物生産のための検査、指導等に関する事業を行い、もって畜産の振興に寄与することを目的とする。					
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 畜産経営者に対する生産技術及び畜産経営の改善指導</li> <li>2) 安全良質な畜産物の生産及び家畜の健康保持に係る知識の普及啓発</li> <li>3) 畜産及び家畜衛生に関する調査、研究及び広報並びに情報の収集提供並びに指導者の育成指導</li> <li>4) 家畜の改良促進のための家畜人工授精用精液の流通調整、家畜の登録及び共進会等の開催</li> <li>5) 家畜伝染性疾病の予防及びまん延防止に関する措置等自衛防疫の推進</li> <li>6) 乳質改善の支援</li> <li>7) 国、岩手県、中央団体等からの助成事業及び受託事業</li> <li>8) 肉用牛肥育経営の安定のための生産者積立金の積み立て及び補填金の交付</li> <li>9) 畜産団体の相互調整及び畜産団体の機能向上支援</li> <li>10) その他目的を達成するために必要な事業</li> </ol>					
常勤役員の状況	合計	1名	うち県現職	0名	うち県OB	1名
	平均年収 ※	一千円	平均年齢 ※	62.0才	※令和5年度実績	
常勤職員の状況	合計	30名	うち県派遣	0名	うち県OB	2名
	平均年収 ※	420千円	平均年齢 ※	47.5才	※令和5年度実績	

2 県施策推進における法人の役割《所管部局記載》

1	将来を担う経営体を対象とした経営診断・経営技術指導の実施
2	地域畜産をけん引する収益性の高い経営体の育成推進
3	肉用牛肥育経営安定対策の的確な実施
4	自衛防疫意識の啓発と地域ぐるみのワクチン接種推進
5	家畜人工授精用凍結精液等の安定供給及び適正利用の推進

3 公的サービスを提供する事業主体としての適切性《所管部局記載》

(1) 他の民間団体等との代替性及び役割分担について

国及び県の施策との整合性を図りながら、県全域において、畜産経営の強化・安定、家畜生産・改良、家畜自衛防疫等、畜産振興に係る多岐にわたる事業を、農業団体や生産者組織との連携の下に総合的に実施している唯一の団体です。

(2) 県直営との比較(機動性・効率性・専門性等の法人の長所、強み)について

独立行政法人農畜産業振興機構や公益社団法人中央畜産会などの中央団体が所管する多岐にわたる事業を継続的に実施し、当該事業遂行に係るノウハウの蓄積があり、かつ、県内の関係機関・団体との間で連携体制を構築しており、県が行うより的確・迅速・効果的な事業執行が可能です。

4 連携・協働のあり方《所管部局記載》

本法人は、国及び県の施策との整合性を図りながら、畜産振興施策を幅広く総合的に行うことができる本県唯一の公益法人であり、畜産を巡る社会情勢が変化していく中、本県の畜産施策に対する役割が増してきていることから、県は、本法人が展開する事業について、より効果的なものとなるよう連携・協働を強化し、適切な支援、関与及び指導を継続することにより、事業施策の推進を目指します。

## II 経営目標の達成状況

### 1 事業目標

1	事業目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	将来を担う経営体を対象とした経営診断・経営技術指導の実施	① 畜産コンサルタント団の設置（通年）	通年設置済	通年設置	通年設置
		② 畜産経営体への助言指導の実施 個別支援指導170件/年 地域支援指導3回/年	171件/年 4回/年	170件/年 3回/年	170件/年 3回/年
取組内容	①県、関係機関・団体による畜産コンサルタント団の設置（体制を通年維持） ②畜産コンサルタント団による畜産経営体への助言指導を実施（個別支援指導（経営診断改善指導、経営管理技術指導、生産技術指導、フォローアップ指導）、集団支援指導等） ③協会ホームページによる畜産経営関連の情報提供を実施				
課題	・生産基盤の弱体化（畜産農家戸数等の減少が続いている） ・畜産経営体の収益性の悪化（国際情勢の変化等の影響を受けて畜産経営体では、生産費用が増大）				
2	事業目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	地域畜産をけん引する収益性の高い経営体の育成推進	① ミルキングシステム（搾乳機器）の診断 診断件数 320件/年	312件/年	320件/年	320件/年
取組内容	酪農経営体が個々に設置しているミルキングシステム（搾乳機器）の常時適正化を図るため、外部専門家（搾乳機器メーカー）と連携し、機器の診断を行い、機能の適正化等に係る助言を実施				
課題	・生産基盤の弱体化（畜産農家戸数等の減少が続いている） ・畜産経営体の収益性の悪化（国際情勢の変化等の影響を受けて畜産経営体では、生産費用が増大）				
3	事業目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	肉用牛肥育経営安定対策的的確な実施	① 交付金を遅滞なく適正に交付（通年）	適正交付済	適正交付（通年）	適正交付（通年）
		② 制度の周知 1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
取組内容	①肉用牛肥育経営の収益性が悪化した際に、生産者積立金を原資とする基金及び国費相当額の補助金を交付金として遅滞なく適正に対象となる肉用牛肥育経営体へ交付 ②事務委託先と連携し推進会議等により制度を適正に周知、執行				
課題	・生産基盤の弱体化（畜産農家戸数等の減少が続いている） ・畜産経営体の収益性の悪化（国際情勢の変化等の影響を受けて畜産経営体では、生産費用が増大）				
4	事業目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	自衛防疫意識の啓発と地域ぐるみのワクチン接種推進	① ワクチン接種の推進 県内全域、通年	全域通年実施済	県内全域、通年	県内全域、通年
		② 地域協議会との連携強化のための情報交換 2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
取組内容	①国補助事業（家畜生産農場衛生対策事業）の適正実施による、家畜伝染性疾病等の清浄化及びまん延防止のための予防接種等の推進 ②独自事業（家畜自衛防疫推進・支援事業）の実施による地域ぐるみによるワクチン接種の推進等 ③地域協議会との連携強化のための情報交換会の実施				
課題	・高病原性鳥インフルエンザの発生や野生イノシシへの豚熱感染拡大に対応した発生予防対策の強化 ・家畜生産農場における家畜伝染性疾病の清浄化及びまん延防止のための組織的な予防接種等の推進				
5	事業目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	家畜人工授精用凍結精液等の安定供給及び適正利用の推進	① 優良種雄牛凍結精液の利用推進 情報交換・利用推進会議3回/年	4回/年	3回/年	3回/年
取組内容	①県有種雄牛をはじめ家畜改良事業団等の各団体から優良種雄牛の凍結精液を確保し、農協等人工授精所と連携して、県内酪農家・肉用牛飼養農家に安定的に供給 ②経済効果の高い精液の利用推進会議 ③供給精液の受胎状況調査の実施				
課題	・生産基盤の弱体化（畜産農家戸数等の減少が続いている） ・畜産経営体の収益性の悪化（国際情勢の変化等の影響を受けて畜産経営体では、生産費用が増大）				

II 経営目標の達成状況

2 経営改善目標

1	経営改善目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	事業を適正に実施するため中央団体等との連携強化	① 中央打合せ会議参加 (4回)	5回/年	4回/年	4回/年
取組内容	中央団体が開催する中央打合せ会議に参加し連携を強化				
課題	・ 関係機関団体との連携強化による効率的、効果的な事業の執行				
2	経営改善目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	県、関係機関・団体との連携・協働の推進	① 県内関係機関・団体等との意見交換会 (1回)	1回/年	1回/年	1回/年
		② トップミーティングの実施(随時)	実施済	随時実施	随時実施
		③ 担当者会議の開催 (3回)	5回/年	3回/年	3回/年
取組内容	①県内関係機関・団体等との意見交換を行い、県内関係者の連携を強化 ②トップミーティングにより、県内畜産振興に係る方針等について意見交換を実施 ③担当者会議を開催し、実務レベルでの意見交換を通じて連携・協働を推進				
課題	・ 関係機関団体との連携強化による効率的、効果的な事業の執行				
3	経営改善目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	畜産経営体等に対し適時適切な情報提供とアドバイスを行うことができる職員の確保・育成	① 定年退職再雇用者から若手職員への組織的な知識・技能、経験の継承(継続)	継続実施済	継続	継続
		② 職員を育成するためのジョブローテーションの実施(継続)	継続実施済	継続	継続
		③ 研修会への参加促進による能力向上(随時)	実施済	継続	継続
取組内容	①定年退職者の再雇用の継続及び知識・技能、経験の継承のための体制の維持(随時) ②部署間及び部署内でのジョブローテーションの実施 ③国、中央団体等が開催する研修会に参加し職員個々の能力を向上				
課題	・ 職員数の固定化(臨時的・緊急的の増加に対して、柔軟に職員を増員することが難しい) ・ 事業量の増加に伴う柔軟な組織体制の確保(臨時的・緊急的の増加しており、担当事務に加え、新たな事務により、負担が過重となるおそれがある)				
4	経営改善目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	効率的な業務遂行やワークライフバランスに配慮した職場環境の実現	① デジタル技術を活用した業務の効率化(web会議等)	実施済	継続実施	継続実施
		② 職員健康診断の受診(全員)	受診済	継続受診	継続受診
		③ インフルエンザワクチン等接種(奨励)	実施済	継続実施	継続実施
取組内容	①デジタル技術を活用した業務の効率化(web機器を活用したりリモート会議開催による事業周知等の効率化) ②職員の健康管理のため職員全員を対象に健康診断を実施(費用は法人が定額負担) ③職員体制を確保するため、季節性インフルエンザ流行期前のワクチン接種を奨励(費用は法人が全額負担)				
課題	職員数が固定化している状況にあるなか、臨時的・緊急的の増加や感染症の集団発生等により、職員への負担が増大し、ワークライフバランス上の問題を生じさせる懸念				
5	経営改善目標	目標値《令和5年度》	実績	《令和6年度》	《令和7年度》
	畜産経営体等のニーズを踏まえた組織としての事業実施体制の保持	① 組織運営・課題検討プロジェクトチームによる課題整理及び対応	実施済	継続実施	継続実施
		② 公認会計士による指導(10回)	12回/年	10回/年	10回/年
取組内容	①組織運営・課題検討プロジェクトチームにより短期的及び中期的課題並びに対策を整理し、スケジュールに沿って対応 ②公認会計士と年間を通じた助言指導契約を締結し、公認会計士からの訪問による指導及び電子媒体による指導を継続的に実施				
課題	・ 生乳検査事業の廃止や畜産農家戸数等の減少により、手数料等の収入減少に対応し、収益改善に向けた新たな事業等の検討 ・ 経費の縮減に向け、組織運営・課題解決に係る検討による、事業の効率的実施等の推進				

### Ⅲ 役職員の状況

#### 1 役員（令和6年7月1日現在）

（単位：人）

	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	県現職 (特別職)	県現職 (一般職)	県OB	その他	県現職 (特別職)	県現職 (一般職)	県OB	その他	県現職 (特別職)	県現職 (一般職)	県OB	その他
常勤	1		1		1		1		1		1	
非常勤	18		3	15	18		3	15	18		3	15
計	19		4	15	19		4	15	19		4	15

※役員には監事を含む。

#### 2 (1) 職員（令和6年7月1日現在）

（単位：人）

		令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		プロパー	県派遣	県OB	その他	プロパー	県派遣	県OB	その他	プロパー	県派遣	県OB	その他
常勤	管理職 (役員兼務)	11	8	1	2	10	9	1		9	8	1	
	一般職	28	17		11	20	11	1	8	21	13	1	7
	小計	39	25	1	13	30	20	2	8	30	21	2	7
非常勤	管理職 (役員兼務)												
	一般職												
	小計												
計		39	25	1	13	30	20	2	8	30	21	2	7

「県派遣」のうち、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律第6条第2項に基づき県が給与支給する者の数

令和4年度  人

令和5年度  人

令和6年度  人

※管理職：課長職相当以上とする。役員兼務の者は、役員・職員の両方に計上し、職員数には「(役員兼務)」欄で表示する。

※プロパー：法人直接雇用の常勤無期職員。

※その他：プロパー、県派遣、県OB以外で、他団体派遣職員や法人直接雇用の有期職員等。

#### 2 (2) 職員の年齢構成（令和6年7月1日現在）

（単位：人）

		19歳以下	20-29	30-39	40-49	50-60	61歳以上	計
		常勤	管理職				4	4
	プロパー				4	4		8
	県派遣						1	1
	県OB							
	その他							
	一般職		3	5	6	2	5	21
	プロパー		2	5	4	2		13
	県派遣						1	1
	県OB							
	その他		1		2		4	7
	計		3	5	10	6	6	30

#### 法人説明欄

〔役職員数の状況について〕

- ・令和4年度末の生乳検査事業の終了等に伴い、令和5年度の職員は9名減の30名となっていたが、令和6年度の職員の増減はなかった。
- ・一方で、令和5年度に引き続き令和6年度もプロパーの新規職員を1名採用した。

〔県の関与の状況について〕

〔職員の年齢構成について〕

40才以上の中堅層は厚いが、39才以下の層が薄い。

IV 財務の状況

【社団・財団】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(令5-令4)	
<b>資産</b>	1,199,515	1,329,435	1,391,978	62,543	
流動資産	429,242	479,883	492,710	12,827	
うち現金	293,065	347,718	354,689	6,971	
うち有価証券	0	0	0	0	
固定資産	770,273	849,552	899,268	49,716	
基本財産	0	0	0	0	
うち投資有価証券	0	0	0	0	
特定資産	750,691	837,077	892,530	55,453	
うち投資有価証券	0	0	0	0	
その他固定資産	19,582	12,475	6,738	▲ 5,737	
うち投資有価証券	0	0	0	0	
<b>負債</b>	645,243	743,680	797,772	54,092	
流動負債	129,532	145,043	146,228	1,185	
うち有利子負債	0	0	0	0	
固定負債	515,711	598,637	651,544	52,907	
うち有利子負債	0	0	0	0	
<b>正味財産</b>	554,272	585,755	594,206	8,451	
指定正味財産	0	0	0	0	
一般正味財産	554,272	585,755	594,206	8,451	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(令5-令4)	
<b>正味財産増減計算書</b>					
経常収益	851,500	1,315,307	914,209	▲ 401,098	
経常費用	801,162	1,260,464	898,692	▲ 361,772	
事業費	779,177	1,235,528	871,811	▲ 363,717	
うち人件費	147,576	152,459	135,151	▲ 17,308	
うち支払利息	54	43	31	▲ 12	
管理費	21,985	24,936	26,881	1,945	
うち人件費	16,373	18,207	17,898	▲ 309	
評価損益等増減額	0	0	0	0	
当期経常増減額	50,338	54,843	15,517	▲ 39,326	
経常外収益	0	0	20	20	
経常外費用	0	0	4,943	4,943	
当期経常外増減額	0	0	▲ 4,923	▲ 4,923	
法人税、住民税及び事業税	21,204	23,360	2,143	▲ 21,217	
当期一般正味財産増減額	29,134	31,483	8,451	▲ 23,032	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	554,272	585,755	594,206	8,451	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(令5-令4)	内容
<b>県の財政的関与</b>					
長期貸付金残高	0	0	0	0	
短期貸付金実績(運転資金)	0	0	0	0	
短期貸付金実績(事業資金)	0	0	0	0	
損失補償(残高)	0	0	0	0	
補助金(運営費)	0	0	0	0	
補助金(事業費)	312	1,250	1,000	▲ 250	家畜共進会開催事業(1,000千円)
委託料(指定管理料除く)	5,033	5,032	5,032	0	畜産生産基盤育成強化事業(5,032千円)
指定管理料	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(令5-令4)	
<b>財務指標</b>					
自己資本比率(%)	46.2	44.1	42.7	▲ 1.4	=正味財産/総資産×100
流動比率(%)	331.4	330.9	336.9	6.1	=流動資産/流動負債×100
有利子負債依存率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	=有利子負債/総資産×100
管理費率(%)	2.7	2.0	3.0	1.0	=管理費/経常費用×100
人件費比率(%)	20.5	13.5	17.0	3.5	=人件費/経常費用×100
独立採算度(%)	106.3	104.4	101.2	▲ 3.2	=(経常・経常外収益-補助金【運営費】)/(経常・経常外費用)×100
総資本当期経常増減率(%)	9.1	9.4	2.6	▲ 6.8	=当期経常増減額/正味財産期末残高×100
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(令5-令4)	
<b>財務評価</b>	A	A	A		A(100.0)、B(70.0)、C(40.0)、D(20.0)

※財務評価は、フローチャートに従いAからDによる評価をし、点数化したものである。

法人説明欄

【貸借対照表・正味財産増減計算書について】  
 資産(固定資産)は49,716千円の増、負債(固定負債)は52,907千円の増となった。何れも肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る肥育安定基金引当預金(資産)及び肥育安定基金(負債)の増(ともに56,006千円の増)が要因である。(※)  
 ※ 増加要因である生産者積立金額が減少要因である補填金額を上回ったため増加した。

【県の財政的関与について】  
 補助金(事業費)は、前年度と同様に1事業(家畜共進会開催事業)を実施。250千円減の1,000千円となった。委託料(指定管理料除く)についても、前年度と同様に1事業(畜産生産基盤育成強化事業)を実施。前年度と同額の5,032千円となった。

【財務指標・財務評価について】  
 財務指標比率のうち、自己資本比率、独立採算度及び総資本当期経常増減率が前年度からポイントを下げたが、独立採算度の値は前年度に引き続き100%以上であり、独立採算性が保たれている。

## V 法人及び所管部局の評価

### 1 県施策と法人との連携・協働

#### (1) 県施策の推進について

法人	畜産経営改善の指導、飼養管理技術の向上、家畜改良の促進及び自衛防疫の推進を図るとともに、安全かつ良質な畜産物生産のための改善支援を行うことにより、岩手県民計画第2期アクションプラン政策推進プラン37の課題への対応を補完するなど県の施策推進に貢献している。
所管部局	当協会は、畜産農家の経営安定を図るため、技術指導、経営診断事業、環境保全の推進など、本県畜産を巡る社会情勢の変化や生産現場の需要に対応した各種事業を実施しており、社会的要請もあり、本県の畜産施策に大きな役割を担っている。

#### (2) 民間団体との代替性及び役割分担について

法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産経営環境が厳しさを増している中、国及び県の政策的事業の受け皿として、当協会の存在意義が高まっており、顧客の帰属する団体に関わらず、畜産に係る幅広い事業の受け皿となりえる県内唯一の団体である。</li> <li>各種事業の実施に当たっては、農協、関係機関及び団体との連携強化、支援の確保等により的確かつ効果的な事業実施に努めている。</li> </ul>
所管部局	当協会は、家畜防疫対策から畜産経営指導までの畜産振興施策を幅広く総合的に行うことができる本県唯一の法人であって、畜産振興の観点から高い公益性を有しており、民間企業や他の非営利団体が当協会の事業を実施することは困難である。

### 2 自律的マネジメントの促進

#### (1) 組織マネジメントの確立について

法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央団体が開催する中央打合せ会議に参加し連携を強化した。</li> <li>県内関係機関・団体等との意見交換を行い、県内関係者の連携を強化するとともに、担当者会議を開催し、実務レベルでの意見交換を通じて連携・協働を推進した。</li> <li>国、中央団体等が開催する研修会に参加し職員個々の能力の向上を図った。</li> <li>デジタル技術を活用した業務の効率化を推進した。</li> </ul>
所管部局	関係機関団体との連携強化のため、各種会議への出席のほか、自らが主催する会議等を積極的に開催するなど、組織力の強化に取り組んでいる。 また、職員の育成・能力向上のため、定年退職再雇用者から若手職員への組織的な知識・技能・経験の継承などに取り組んでいる。

#### (2) リスク管理体制の強化について

法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織運営・課題検討プロジェクトチームにより短期的及び中期的課題並びに対策を整理し、スケジュールに沿って対応した。</li> <li>公認会計士と年間を通じた助言指導契約を締結し、公認会計士からの訪問による指導及び電子媒体による指導を継続的に実施した。</li> </ul>
所管部局	対応マニュアルや管理体制の整備する等、法人としての潜在的なリスクを把握し、マネジメントに取り組む姿勢が認められる。 また、会計事務について、内部会議のほか、公認会計士の助言指導を受けるなど、会計処理の適正確保に取り組む姿勢が認められる。

### 3 健全経営の維持・確保

#### (1) 経営改善について

法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度方針（事業計画、役割、使命等）の徹底及び事業の進捗管理（四半期、中間検討会）を行い、協会全体での情報共有を図るとともに、臨時的、緊急的の事業に的確に対応することにより、提供するサービスの向上に努めた。</li> <li>自主財源の確保及び事務の効率化による経費の縮減に努め、財務基盤の安定化、経営の健全化を図った。</li> </ul>
所管部局	財務は概ね健全な状況にあるが、法人を取り巻く環境の変化に備え、引き続き情報収集、管理費の抑制等に努める必要がある。

#### (2) 県の人的・財政的関与について

所管部局	当協会に対しては、職員の派遣や法人代表者への就任、また、運転資金としての短期貸付等の財政的支援は行っていない。 なお、旧社団法人岩手県家畜畜産物衛生指導協会との団体統合により承継した県出資金は、家畜自衛防疫事業を円滑に実施するために長期預り金として整理している。
------	--

※財政的関与は、貸付金・損失補償・補助金（運営費）を受けている場合に記載。

### 4 情報公開の推進について ※開示状況は別表参照

法人	法人の基本情報等について、法人ホームページ及び事務所への資料配備等により情報公開を推進している。
所管部局	当協会は、情報誌を発行するほか、ホームページでも情報提供を行っている。また、メールアドレスを公開、周知し、随時、メールでの意見、要望を受付けている。

VI 統括部署（総務部）の総合評価

1 取り組むべきこと（指摘事項）

法人	令和5年度の財務状況について、一般正味財産は594,206千円となっており、経営改善目標の達成率も好調を維持していますが、経営が安定的に継続するよう、環境の変化などによる新たな課題がないか把握した上で、必要な対応をしていく必要があります。
所管部局	今回、法人に対して指摘した項目について、指導監督の責務を担う所管部局として、積極的に関与する必要があります。

2 過去の指摘事項に対する取組状況

【令和4年度指摘事項】

	指摘事項	取組状況	取組実績・効果・進捗状況	達成時期
法人	1 現行の中期経営計画（R1～R4）について令和4年度に最終年度を迎えることから、事業目標及び経営改善目標に対する実績と計画期間内における取組内容の評価が必要となります。この評価結果を踏まえ、課題を明らかにした上で、事業目標等の見直しや、より実効性の高い取組、具体的な工程などの検討を十分に行い、令和4年度に策定する次期中期経営計画（R5～R8）に反映させる必要があります。	実施済	県審査課と調整を重ね、中期経営計画（R5～R8）策定済み。	R5.3
所管部局	1 今回、法人に対して指摘した項目について、指導監督の責務を担う所管部局として、評価の段階から次期中期経営計画の策定まで積極的に関与する必要があります。	実施済	当該強化と調整を重ね、中期経営計画（R5～R8）策定済み。	R5.3

【令和5年度指摘事項】

	指摘事項	取組状況	取組実績・効果・進捗状況	達成時期
法人	1 令和5年3月に策定した令和5年度から令和8年度を計画期間とする中期経営計画について、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類への移行を受けて、ポストコロナの観点から令和6年度以降の経営目標及び事業目標の目標値及び収支計画等の見直しの検討を進め、検討結果に応じた計画に変更する必要があります。なお、計画の見直しにあたっては、策定時から現在までの状況の変化などを踏まえ、改めて課題を整理した上で、検討を十分に行う必要があります。	実施済	新たな計画期間の初年度の達成状況把握と合わせ、見直し検討を行ったが、ポストコロナの観点による変更点はありませんでした。	R6.3
所管部局	1 今回、法人に対して指摘した項目について、指導監督の責務を担う所管部局として、見直しの検討の段階から検討結果に応じた計画の変更まで積極的に関与する必要があります。	実施済	協会原案の確認・調整を重ね、中期経営計画の見直しを行いました。なお、ポストコロナの観点については、事業の性質上盛り込むべきものがないことを重ねて確認しました。	R6.3